**全国地理教育学会　第15回地理教育基礎巡検のお知らせ（実施要項）**

テーマ：南千住・山谷・三ノ輪・吉原地域における地歴連携の視点も取り入れた地理教育基礎巡検

　　　　　―江戸時代からの地域的変貌と現在の地域的特色を探る―

主　旨：今回の巡検では，東京都荒川区から台東区にまたがる南千住・山谷・三ノ輪・吉原地域を巡る。地形的にはほとんどが海抜1.5～２ｍの隅田川の沖積平野の氾濫原もしくは三角州からなる低地で，起伏はほとんどみられない。この地域は，江戸期には基本的に田地であったが，日光街道や奥州街道裏道（現：金杉通り）が通じ，江戸の市街地の拡大とともに，江戸（特に浅草）の郊外地域を形成していった。江戸前期には日本堤・山谷堀が設けられ，日本橋より移転してきた遊郭「吉原」も設置された。また，江戸期の身分制度社会において蔑視されていた人々，および遊民や乞食のような「貧民」が多く住み着いた地域でもある。身分制度が廃止された明治以降の社会的混乱のなかで，東京市中にいわゆる「貧民街」が各地に形成され，なかでも南千住駅に近い山谷地区には巨大な「ドヤ街」が形成された。一方，明治から昭和初期には，陸上・水上交通網の整備等を背景に，紡績業などの大工場が進出し，市街地化が急速に進み，商店街も形成されていった。現在ではこのような地域的性格も大きく変わり，中高層建築物が目立つなど都市景観も大きく変貌し，平成以降に成立した再開発地区もみられる。そこで，本巡検では江戸時代以降の歴史的な視点も取り入れつつ，この地域における地域的特色とその変貌を考察する。

日　程：2016年10月9日（日）10：00～16：00

集　合：JR常磐線南千住駅改札口　9：50（10:00出発）

　　　　　東京メトロ日比谷線南千住駅からは北口，つくばエクスプレス南千住駅からは地上改札が便利です。

解　散：東武伊勢崎線（スカイツリーライン）浅草駅南口広場前　16:00

参加費：300円（資料代）

案　内：天野　秀彦（サレジオ学院中学校高等学校・非，本学会巡検委員会委員）

巡検の視点

　（1）対象地域の自然環境と治水・利水対策　　（2）対象地域の交通・輸送網の変化と連結

　（3）江戸時代における対象地域の地域的特色　（4）明治・大正期における工業の発展と対象地域の市街地の拡大

　（5）台東区山谷地区における変貌と現状　　　（6）荒川区三ノ輪地区における近隣住民の生活と商店街の形成

　（7）台東区旧吉原遊郭における変貌と現状

巡検コース概要

　JR南千住駅　⇒　小塚原回向院　⇒　延命寺（小塚原処刑場跡）　⇒　南千住駅南口歩道橋（隅田川貨物駅や荒川

　区汐入地区の再開発地区を眺める）　⇒　山谷地区（泪橋・平賀源内墓所・山谷労働者福祉会館・城北福祉センター）

　⇒　思川暗渠（台東区と荒川区との区境，明治通りなどを西進）

　⇒　三ノ輪地区（浄閑寺・旧日本堤の北端・三ノ輪橋・三ノ輪橋商店街・目黄不動）　⇒　土手通り（日本堤跡）

　⇒　吉原遊郭跡（見返り柳・大門跡・「おはぐろどぶ」と盛り土で構成された跡地の景観・吉原神社・車善七屋敷跡）

　⇒　山谷堀公園（日本堤跡）　⇒　都立浅草高等学校（弾左右衛門屋敷跡）　⇒　今戸神社　⇒　本龍寺

　⇒　待乳山聖天　⇒　花川戸地区（靴・祭事用具問屋街）　⇒　東武浅草駅

　（コースについては，今後現地の事情等によって変更する場合があります。）

※本巡検終了後，反省会を兼ねた懇親会を予定しています。参加を申し込まれる方は，2016年9月30日（金）までに，巡検委員会の下記アドレスに，（1）巡検のみ参加，（2）巡検・懇親会とも参加，を明記のうえご連絡ください。また，巡検に関する問合せも，下記アドレスをご利用ください。会員・非会員，地理プロパー・非プロパーを問わず，ご参加をお待ちしております。なお，参加費は当日集めます。懇親会の会場は未定，費用は4,500円前後を予定しています。

　　『全国地理教育学会巡検委員会メールアドレス：（e-mail:junken@jageoedu.jp）』